

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 こころの医療センター駒ヶ根

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,170	非該当	非該当	10 : 1

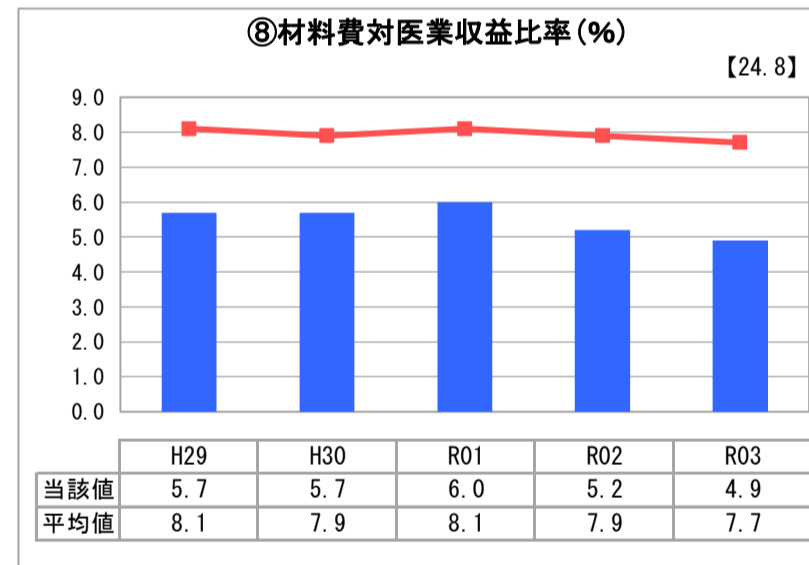
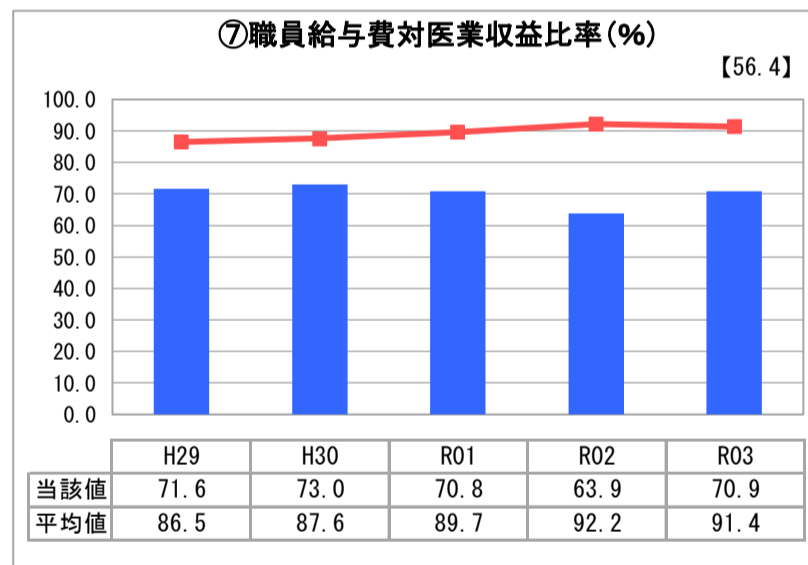
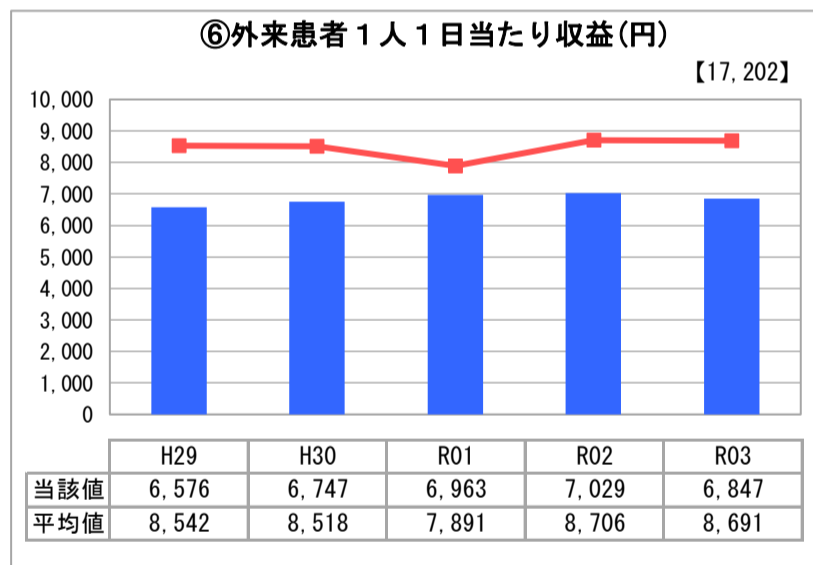
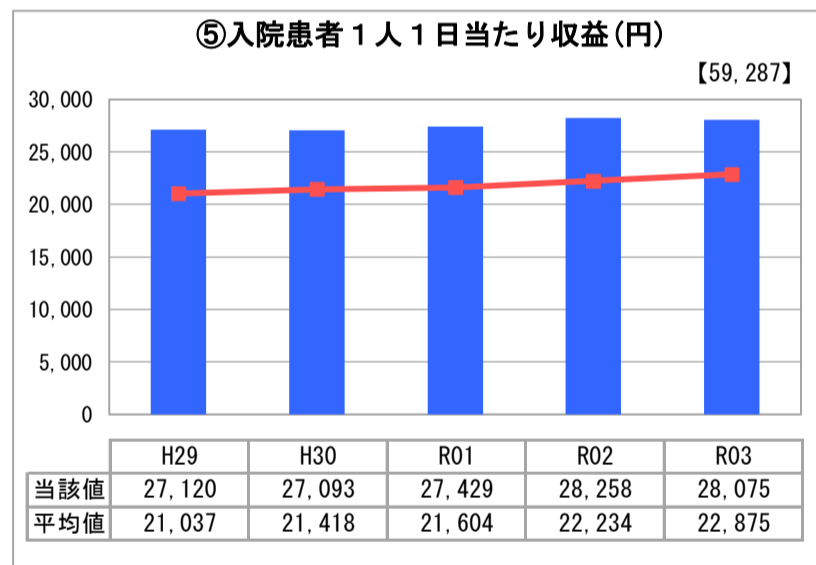
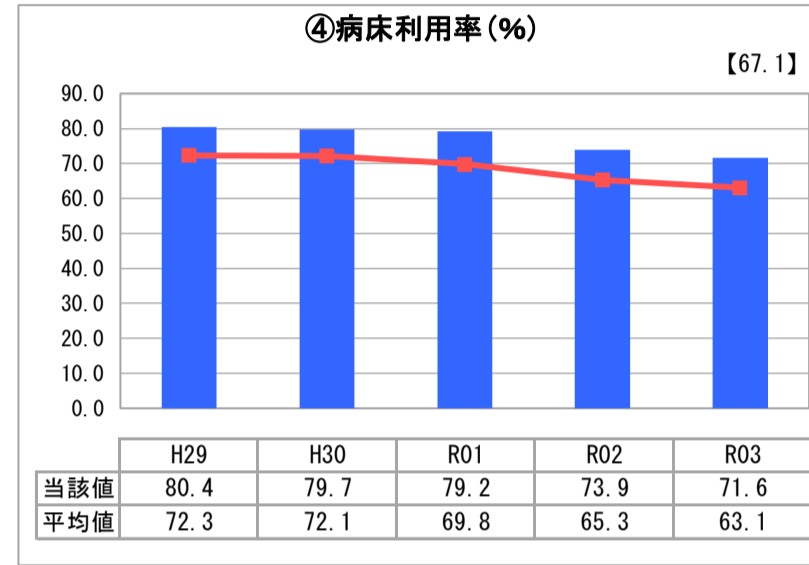
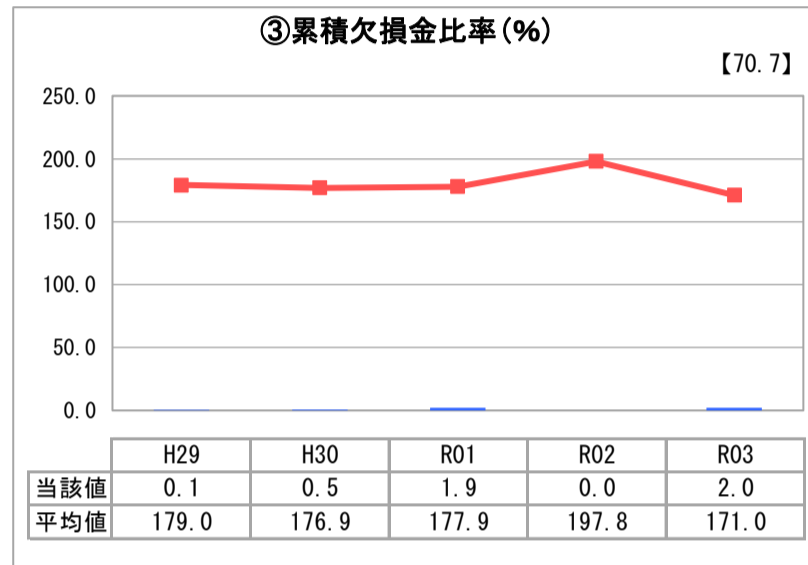
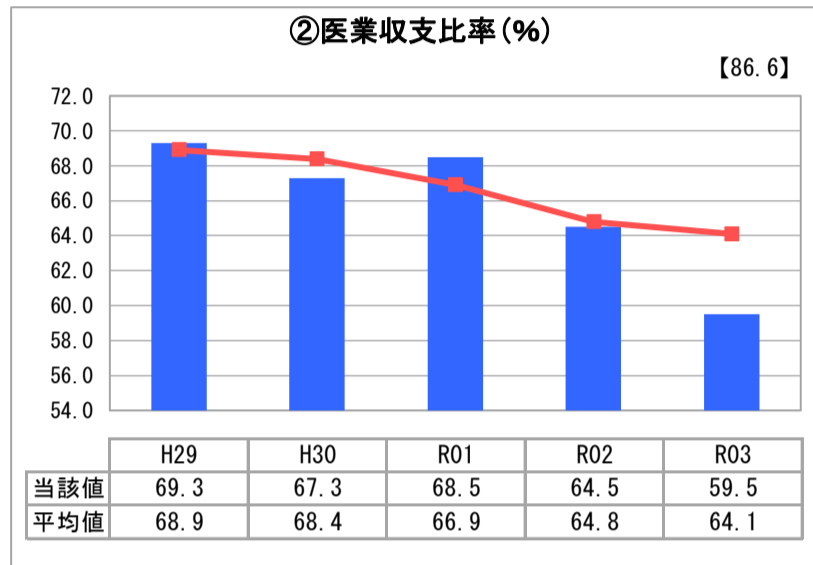
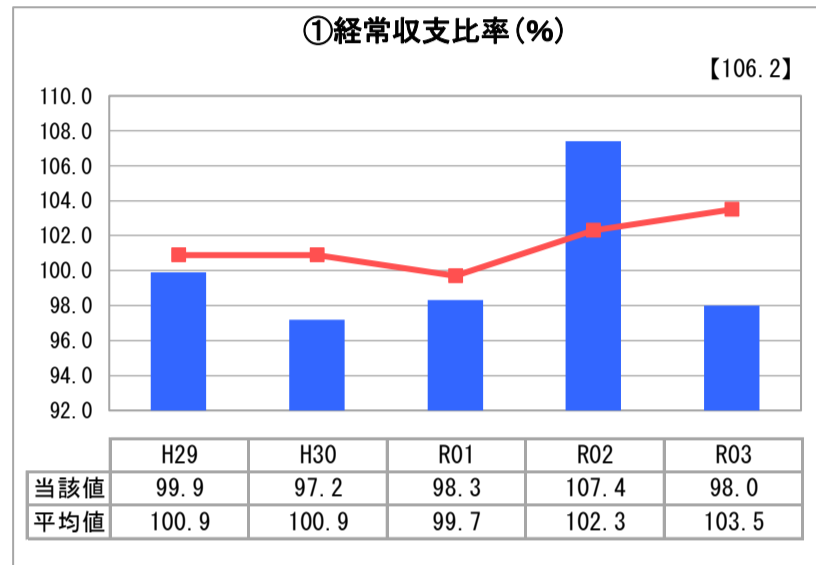
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

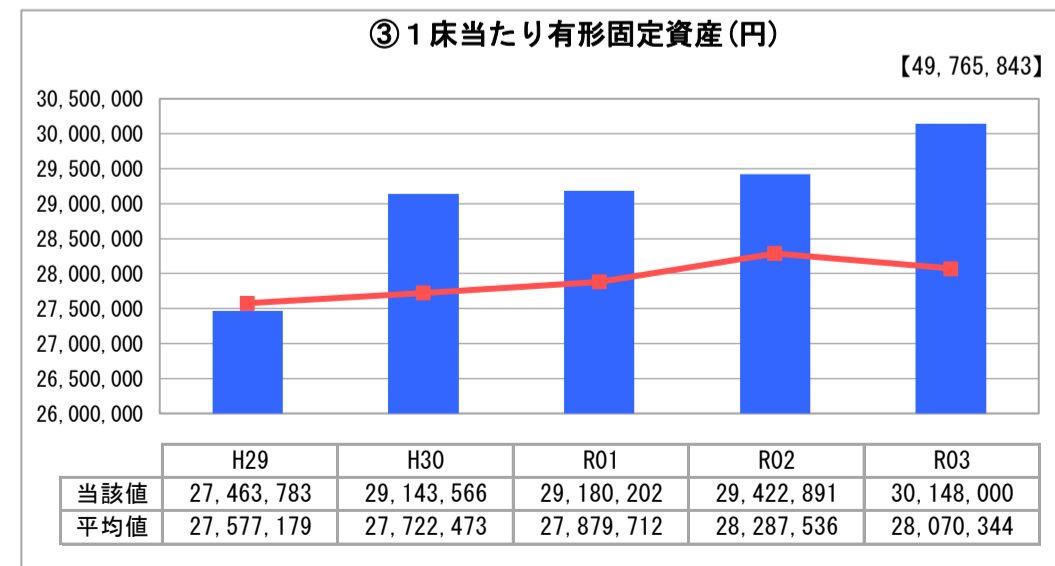
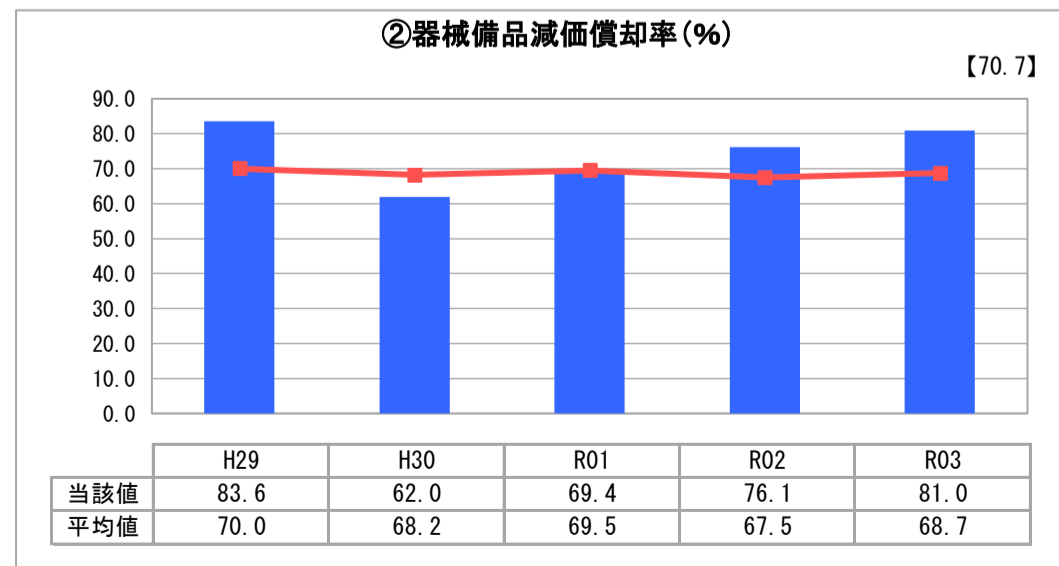
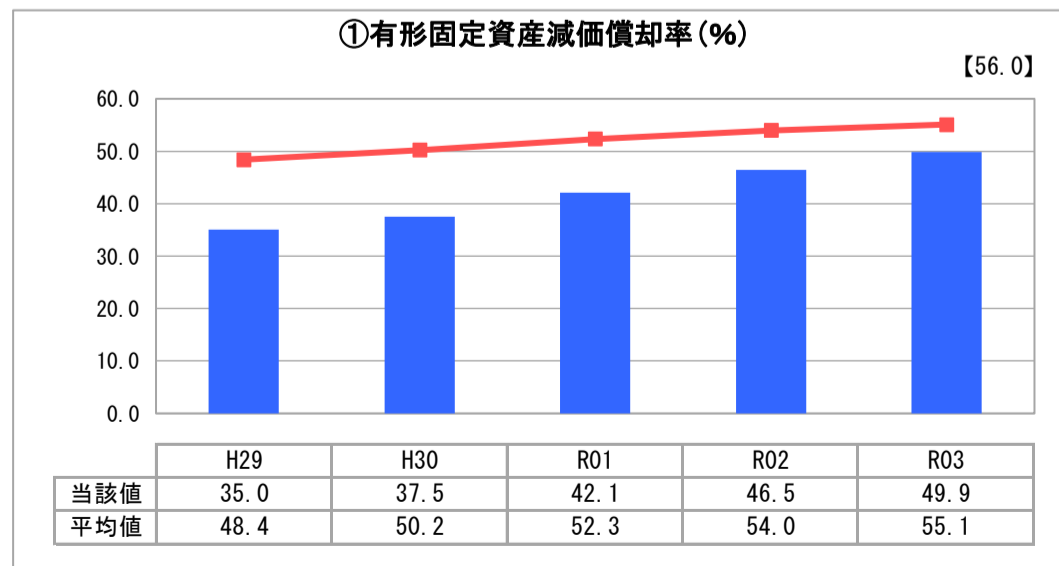
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
129	-	129
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	平成22年度	-

## I 地域において担っている役割

24時間体制の精神科救急医療、アルコール・薬物及びギャンブル等依存症、児童・思春期、青年期精神医療、医療観察法など多職種チームによる専門医療を提供している。また、他の医療機関では治療困難な精神疾患を持つ患者を全県から受入れている。認知症医療については、令和2年4月に県から指定を受け、「認知症疾患医療センター」を開設し、専門医療相談を開始している。

また、平成29年4月に開設した「精神科研修・研究センター」において、信州大学との連携大学院教育を開始し医師や医療スタッフの育成や研修に力を入れている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・令和3年度は、①経常収支比率は、新型コロナウイルスの影響により100%を下回り、類似病院平均も下回った。②医業収支比率も、入院収益の減少によって前年度を大きく下回る結果となった。

・④病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、患者数が減少したことにより前年と比較して減少したが、類似病院平均値より上回った。

### 2. 老朽化の状況について

・有形固定資産の減価償却率は年々上昇傾向にあるが、類似病院平均値より下回っている。病院建築後の年数が浅いため、当面は施設維持に多額の費用を要する見通しはない。しかし、徐々に設備の修繕が増えていることから、今後施設の適切な管理を行い長寿命化を図るとともに、将来の大規模修繕・増改築に備える必要がある。

・器械備品については、償却率の上がり方の傾向から、今後入替えやメンテナンス等の費用が増加することが予想される。

## 全体総括

・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きしており、今後患者数の増加と収益向上により尽力し、経営の健全性を高めていく必要がある。

・政策医療を担う県立精神科病院として、精神科救急、m-ECT（修正型電気痙攣療法）、クロザピンの投与等の専門医療、アルコール・薬物及びギャンブル等依存症、児童・思春期、青年期の精神疾患への専門医療、医療観察法など、多職種チームによる高度な専門医療を提供し、他の医療機関では治療困難な精神疾患を持つ患者の受入れを引き続き行っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。